

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和5年度 第2回 米原市子ども・子育て審議会
開 催 日 時	令和5年12月4日（月）19時00分～20時45分
開 催 場 所	米原市役所3階 会議室3-C
出席者および欠席者	出席者：西川正晃委員、田辺善行委員、岩崎房子委員、藤田善治委員、北村きよみ委員、宮川敬一郎委員、井量昭委員、高岡一広委員、大橋多紀子委員、杉江秀文委員、朽木弘寿委員、北居理恵委員、青木明香委員、浅井茅子委員 事務局：くらし支援部 専門員：寫真弓 子育て支援課：山田直樹課長、田辺英美、江竜和信、布施康之 保育幼稚園課：瀧上奈津代課長、五十嵐由香里、石川和也 欠席者：戸田光子委員、角田航也委員
議 題	(1)「米原市こども計画」策定に係るアンケート調査の調査項目について て (2) 未就園児の定期的な預かりモデル事業について
結 論	・「米原市こども計画」策定に係るアンケート調査の調査項目について検討をした。 ・今後の策定スケジュールについて説明した。 ・令和5年度から実施している未就園児の定期的な預かりモデル事業について報告した。
事務局	開会 本日は何かとご多用の中、また、夜分お疲れのところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただ今から、令和5年度第2回米原市子ども・子育て審議会を開催させていただきます。私は、事務局の子育て支援課 課長の山田でございます。本日の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 議事に入る前に、会議の成立についてですが「米原市子ども・子育て審議会条例」第6条第2項により、委員の半数以上の出席が必要となっております。 本日の出席委員数は、委員16名のうち、現在14名ですので、本審議会が成立しておりますことをご報告いたします。 本日の審議会につきましては「米原市附属機関の会議の公開に関する要領」に基づきまして公開で行います。また、審議会の議事録の要点を無記名で市公式ウェブサイト公表しますので、ご了承をお願いいたし

<p>会長</p>	<p>ます。</p> <p>それでは、会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。次第、資料1から資料6までを先に送付させていただいております。本日お手元にお配りした資料としましては、資料2・4・5・6の参考資料、「米原市こども計画」に関するアンケート調査票へのご意見シート、令和5年度米原市未就園児の定期的な預かりモデル事業についてという資料です。</p> <p>それでは、会議次第に基づき、開会に当たりまして西川会長からご挨拶をお願いいたします。</p> <p>皆さま、お疲れのところありがとうございます。前回は大変説明が長く、ほとんど皆様のご意見をいただけなかったのですが、今日は1点、アンケート調査票に関するご意見を頂戴したいと思っております。これは、米原市のこども計画策定には欠かせない大切なものであります。大変多岐にわたる部分ではありますが、皆さまそれぞれのお立場でのご意見を頂戴し、より精度の高い確かなものができますように、どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここから議事に移ります。以降の進行につきましては、条例第6条によりまして、西川会長をお願いしたいと存じます。西川会長、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、進行させていただきます。夜分の時間でございます。できる限りスムーズに進行できるように努めますので、皆さまのご協力をよろしくをお願いいたします。</p> <p>会議次第の2、議題（1）「米原市こども計画」策定に係るアンケート調査の調査項目について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題（1）「米原市こども計画」策定に係るアンケート調査の調査項目について、ご説明いたします。</p> <p>（事務局説明）</p>
<p>会長</p>	<p>丁寧にありがとうございました。一覧表を作っていたので、照</p>

事務局	<p>らし合わせながら確認することができ、よく分かりました。</p> <p>各調査票を個別に見ていくのは時間がかかりすぎると思いますし、関連することもありますので、全般にわたって伺います。資料2～6の調査票の項目に関するご質問・ご意見、また、事務局説明であった削除を考えられている項目についてのご提案等いかがでしょうか。</p> <p>小学5年生と中学2年生については自宅に調査票が郵送されるようですが、子どもが回答するときに保護者のチェックが入らないだろうかと懸念しています。郵送ではなく学校での配布・回収にしてはどうでしょうか。そうした方が保護者の意思が働かず、子どもがありのままに答えられると思いますが、学校で回答というのは難しいですか。郵送では本音をあぶり出せないような気がします、その点いかがでしょう。</p> <p>子どもの生活実態調査につきましては「子どもの貧困対策計画」を想定した調査になります。他自治体でのこの調査については、学校で配布・回収のケースが多いので、当初米原市も教育委員会に協力をお願いしたのですが、初めての調査になりますし、アンケート内容が教育的というよりは福祉的、また、プライベートな内容に踏み込んでいるから教育現場の了解を得られないと言われたため、今回は郵送での調査とさせていただきます。</p>
会長	<p>学校での配布・回収という方法は彦根市で実施していたような記憶があります。大事な点なので、拒否された理由をもう一度言ってください。</p>
事務局	<p>設問の内容が教育的なものではなく福祉的、プライベートなことを聞いている、学校現場で普段聞かないような設問が多いというような回答でした。</p>
会長	<p>教育的な内容というのがよく分かりませんが、精度を高めていかないと、計画自体が形骸化していくような気がします。やはり家に郵送するというのは非常にまずいと思います。この件でご意見等ありますか。</p>
委員	<p>会長のご意見に私も賛同します。小学5年生、中学2年生の調査に関しては、学校で実施した方がよいと思います。学校現場は大変かもしれませんが、学校で実施する方が子どもの声が反映されやすいと思うので、</p>

会長	<p>もう一度検討をお願いします。</p> <p>アンケート調査の内容が多岐にわたっていますので、今の件も含め自由にご発言いただければと思います。</p>
委員	<p>小学5年生、中学2年生の調査方法に関しては検討していただきたいと、私も思います。それに加えて、小学5年生、中学2年生宛ての調査票のビジュアルが堅苦しい感じですが、白黒で文字ばかりなので、子どもが楽しんで取り組めないような気がします。せっかく子どもの意見を取り入れるためのアンケートですので、イラストを入れるなど、子どもが前向きな気持ちで回答できるような工夫をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ビジュアル的にも、もう少し子どもたちが親しみやすい感じにした方がよいというようなご意見でした。</p> <p>今話に出ている小学5年生、中学2年生用の設問で、問19では家族の世話について聞いていますが、聞き方が難しくないですか。世話をほぼ毎日している場合、さらにそれにかかる時間の項目もあり、同時に2つのことを聞く形になっています。この聞き方はいかなものかと私は思いますが、その辺りどうですか。</p>
事務局	<p>ご指摘いただきましたように、1つの設問に2項目入っている部分があるかと思いますが、特にお子さんが対象の調査になりますので、聞き方はもう少し検討させていただきます。ほぼ毎日世話をしているかと質問したうえで、その時間数を聞くなど、分ける形で検討したいと思います。</p>
会長	<p>おそらく設問を減らしていこうという努力をされていると思いますが、そのことにより、かえって難しくなっている設問がいくつかあるような気もしています。</p>
委員	<p>どこかに学校に行けていない子どもについての項目があるかと思って見ていました。小学生の保護者アンケート、お子さんの病気の際の対応のところに学校を休んだことはあるかという設問はありますが、日常的に学校を休んで日中親がいない状態で過ごしている子どもの情報はどこで拾えているのかと気になっています。</p>

会長	<p>今のご質問は、そういうことが設問としては見えてこないのではないかというご意見につながるかと思いますが、事務局どうですか。</p>
事務局	<p>小学5年生、中学2年生対象のアンケートで、遅刻についての設問はありますが、学校へ行けていないかというようなところまで踏み込んだ設問は設定しておりません。</p>
会長	<p>項目を増やすことになるかもしれませんが、フリースクールなども含めた選択肢をこれから作り、学校に通えていない子どもの実態等も把握できればというようなご意見だったと捉えていただければと思います。</p>
委員	<p>基礎資料はこれだけですか。不登校の児童生徒が何人いるかというのは、今ある教育委員会の資料で分かりませんか。他のことについても、今お持ちの統計資料を活用すれば、把握できるのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>計画策定の基礎資料となるのはこのアンケートのみでしょうか。それとも、既存の調査等も使えますか。</p>
事務局	<p>学校で行われる調査なども、本計画策定の資料として使わせていただきたいと考えております。</p>
会長	<p>現状等を把握できる資料があれば計画策定に活用可能で、設問として設ける必要がないこともあるわけですね。</p>
委員	<p>今の学校に行けていない子どもに関連してですが、例えば小学5年生、中学2年生対象のアンケート、問6で学校の部活動に参加していない理由を聞いています。学校に行けていない子どもは1～5のどれも選べず、6のその他を選ぶしかありません。そして、具体的な理由として学校に行っていないからと書くことになってしまい、それはきついと私は思います。文言の検討は要りますが“学校に行っていないから”“学校に行きづらいから”というものが選択肢の中にあれば、そういう場合もあると認めてもらえている感じが当事者にとっては湧くのではないかと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>学校に行けていない子どもがどれだけいるかという具体的な実態を、アンケートによらなくても把握できるものがあればよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>小学5年生、中学2年生対象のアンケートを学校で実施した場合、学校に行けていない子どもは回答できませんよね。家に送るにしても、保護者が回答させないと思います。だから、不登校に関しては別の基礎資料で見る必要があると感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>アンケートに頼らなくても別の調査で見ることができればよいというご意見にはもちろん賛成ですが、学校現場ではなくフリースクールなどの子どもが選択している他のチャンネルで把握できないかと、ふと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>委員のご発言の真意は、データが取れるかどうかよりも、学校に行けていない子どもがこの調査票を見たときどう感じるかということだと思います。私が運営しているフリースペースのような居場所においてこのアンケートを書くこともあり得ます。実際、学校の先生が授業のプリントをこちらに持ってきてくださって書くこともあるからです。だから、この調査票を目にすることはあるかもしれないと考えてもらえればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>子どもたちの気持ちをまず考えるべきというようなご意見だったと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>15～39歳を対象とした調査では、結婚と子どもを持つことについての質問が多くあります。私もいろいろなアンケート調査を見ますが、結婚や子どものことに踏み込んだ質問を目にする機会はあまりありません。昨今の少子化をシビアに捉えてこういう質問をされているのだろうと思う一方、結婚と子どもといった概念に縛られているような感じで不適切かもしれないという印象を受けました。性が多様化し、結婚も男女が行うとは限らない中、子どものことを聞くのが適切かと問われたら、かなり難しいと思います。把握したい気持ちや数値が参考になるのは分かりますが、回答者によってはきついと思う方がおられるという部分で、難</p>

<p>会長</p>	<p>しさを感しました。</p> <p>全体的に質問数が非常に多いと思います。さらに精査いただき、これは必要かという質問と本当に聞かなければならない質問の取捨選択を行っていただければ、回答者も答えやすくなるのではないかと思います。</p> <p>事務局からも、これはいかがなものかという問いかけがありました。先ほどの、学校に行けていない子どもたちの気持ちと同じように、若い方がこのアンケートを見て、かなりきついと感じる方もおられるのではないかというご意見でした。</p>
<p>委員</p>	<p>調査票が6種類あるわけですが、場合によっては同じ方に複数の調査票が届くことも考えられます。その際は届いた分全部に回答しなくてはならないのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに、同じ方に複数あるいは全ての調査票が届いてしまう可能性もございます。無作為抽出ではありますが、同じ方に何通も届く場合は調整が必要になるかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>調整できますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず無作為で抽出し、重複する場合、できれば調整したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>調整する場合、明記しておく必要がありますよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>報告書を作成しますので、そこで対象者の選定方法を説明いたします。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば就学前と小学5年生と中学2年生の子どもがいる保護者の方にとって3つの調査票に答えるのは確かにきついですが、子どもの個性はいろいろで実態も違うので、こちらで取捨選択するのはおかしいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>小学5年生と中学2年生のお子さん2人がおられる場合、中学2年生のお子さんについての回答をお願いしております。それ以外の抽出方法については、まだ決定しておりません。調査票を送る前に、抽出方法を</p>

委員	<p>決定したいと思います。</p> <p>今、小中学校ではタブレットを使ってアンケートに答えることが非常に多くなっています。子どもたちは慣れておりますし、一瞬で結果が出て、教職員の働き方改革にもつながります。また、保護者の場合はスマートフォンでのWeb回答という方法も検討されるとよいと思います。</p>
会長	<p>教育委員会が了承するかどうかですよね。2次元コードを使うことによってかなり回収率が上がると理解しています。可能であれば、保護者と子どもの両方ともQRコードで回答できる仕組みにすればよいと思います。</p>
事務局	<p>先ほど、学校のタブレットを使用してアンケートを実施してはどうかというご意見をいただきました。ただ、タブレットを使うと回答者が特定されてしまいます。匿名性を重要視したいということで、個人が特定できるような手法はやめておこうといった結論になっております。小学5年生、中学2年生とその保護者に対する子どもの生活実態調査につきましては郵送のみとしているのですが、この意図としては、子どもと保護者の回答を同封して返送いただくことによって子どもと保護者の関係が分かり、親の状況と子どもの状況の分析も同時にできるというところで、紙のみとさせていただいている次第です。</p>
会長	<p>親子の関係を見るために紙に限定しているというわけですね。ICTのことはよく知らないのですが、個人が特定できないような回収方法はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>就学前の保護者、小学生の保護者、15～39歳につきましてはWebでの回答も可能です。QRコードを読み取った回答ですので、個人が特定されません。</p>
会長	<p>Google フォームですか。</p>
事務局	<p>保護者アンケート等で実施するものについては、外部のフォーマットになります。個人が特定されてしまう可能性があるというのは、タブレ</p>



<p>会長</p>	<p>ットごとのログが紐づけられるためかと思われます。</p>
<p>委員</p>	<p>他にございますか。</p> <p>就学前の保護者アンケートですが、項目が多すぎると思いますし、就園児に関する質問と未就園児に関する質問が散らばっています。就園児ごと、未就園児ごとにまとめる方が回答しやすいと感じました。また、就労状況に関する質問ですが、入園申し込みの資料等での把握は難しいでしょうか。小さいお子さんがいて時間もない中、これだけの量を書くのをいやがる方も多いと予想でき、回答率が下がるのではないかと懸念しています。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに設問数が多く、回答しにくいアンケートになってしまっていると思います。特に問 29～39 は国の調査票に合わせる形で、かなり設問数を増やしているところになります。ここまで聞かなくても利用ニーズを把握できるかもしれませんので、削除できる部分もあるかと思っています。少子化が進んできている一方、保育ニーズは増えてきているという状況で、これまでは国でも1・2歳児合わせての調査でしたが、今後は1歳児と2歳児を分け、より詳細に調査することとなったため、自ずと設問数が増えている状態です。ただ、答えづらい面もありますので、省略できる箇所があれば取捨選択し、設問数を減らしていきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>国の調査に合わせるという背景もあるようですが、それにしても設問数が多いと皆さん感じておられます。どこまで整理できるかというところでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>就学前の保護者アンケート、就労状況に関する問8の2行目に②1年以内の希望（実現見込みがある）と書かれていますが、希望と実現見込みという言葉を並列にしてよいものかと気になります。希望はあくまで希望であり、実現見込みとイコールではないと思います。また、②1年以内の希望のところ「パート・アルバイト（月48時間未満）」を選択した方は問10に進むことになっていますが、問10ではフルタイムへの転換希望がある、実現の見込みがあるという内容が出てきます。問8で</p>

事務局	<p>「パート・アルバイト（月 48 時間未満）」を選択した方に問 10 でフルタイムへの転換希望、実現の見込みがあるかを聞く意味が不明なため、問 10 は不要ではないかと思いました。</p> <p>問 12 のカッコ内に「5 ページの問 15」とありますが、問 15 は 4 ページです。単純ミスだと思いますので、訂正をお願いします。</p> <p>問 8 は前回調査と同様の内容ですが、また精査させていただきます。それと、問 10 は国の調査票に合わせる形で追加しましたが、問 8 で聞いている内容なので、あえて追加しなくてよいのご意見をお聞きしながら思いました。よって、問 10 は削除いたします。</p>
委員	<p>就学前の保護者アンケートについてですが、選択肢等にある父親と母親の順番がところどころ入れ替わっています。これに意図がないのであれば、表記の順番を統一した方が誤回答を防げると思います。</p>
事務局	<p>特に意図はありませんので、表記の順番を統一いたします。</p>
委員	<p>問 6 では父親が先、問 9 では母親が先になっていますので、続けて回答しているとき、はじめが父親だと思い込んで回答を間違える方もいるかもしれません。</p>
事務局	<p>そうですね。一度全部の項目を確認させていただきます。</p>
委員	<p>同じく就学前の保護者アンケート、問 22 の（1）に 2 つの項目「できれば仕事を休んで看たい」「休んで看ることは非常に難しい」があり「休んで看ることは非常に難しい」を選択した方に（2）でその理由を尋ねていますが「休んで看ることは非常に難しい」という項目は不要ではないでしょうか。「できれば仕事を休んで看たい」と思っていたのにできなかった理由として（2）の選択肢があるべきで、聞き方がまずいのではないかと感じました。</p> <p>問 27 はお子さんを泊りがけで親族・知人にみてほしいと頼んだときの気持ちを聞いており、3 択になっていますが「非常に頼みにくかった」「特に頼みにくくなかった」の 2 択でよいのではない</p>

<p>会長</p>	<p>でしょうか。「どちらかというとな頼みにくかった」といった微妙なニュアンスまで答えてもらう必要はないと思います。</p> <p>問 29 は育児休業の取得の有無について聞いており、選択肢の中に「働いていなかった」とありますが、これは下の取得していない理由に書くべきものですので、選択肢は「現在取得中である」「取得した」「取得していない」だけでよいと思いました。</p> <p>問 32 に「現在も育児休業中である」という選択肢がありますが、そういう方は既に問 31 で答えておられるはずなので、この選択肢は不要ではないでしょうか。</p> <p>問 40 の選択肢にファミリー・サポート・センターがあり、下に事業内容の説明が書かれていますが、ファミリー・サポート・センターについては既に問 15 で出てきていますので、問 15 の下に説明文を持ってくるべきです。</p> <p>用語の定義は表紙に載っていますが、そこにファミリー・サポート・センターについての説明はありませんね。</p>
<p>事務局</p>	<p>問 22、27 は国の調査と全く同じものですが、おっしゃるとおり聞き方がよくないと思いました。国の調査に合わせる必要はございませんし、特に問 27 の 2 択でよいというのはごもっともですので、精査させていただきます。</p> <p>問 29 も基本的に国の調査と全く同じですが、おっしゃるように「働いていなかった」という項目を理由の欄に持ってくる方がよいかと感じましたので、修正することも含め検討したいと思います。</p> <p>問 32 に「取得した」と回答した方にうかがいますという文章がありますが、国の調査では「取得した（取得中である）」となっており、カッコ書きの部分が抜けています。国の調査に合わせて修正し、育児休業を取得中の方にも回答していただけるようにいたします。</p> <p>問 40 の注釈については問 15 に移動させたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>国の調査に合わせる必要はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>国からは、必ずしもこのとおりにしなくてもよいと言われていました。同じようなニーズが把握できればということなので、より答えやすい形</p>

<p>会長</p>	<p>に調整しても構いません。ただ、国の考え方として、この設問とこの選択肢からこういうニーズを把握するというものが出ていますので、組み替えが必要になる箇所もあるかと思えます。</p> <p>より分かりやすくするために変えてもよいわけですね。ただ、クロス集計が難しくなる場合も出てくると予想できるので、その辺り精査が必要かと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>国や他市町の調査との比較もありますので、それも含めて検討したいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>他、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小学5年生、中学2年生対象のアンケート全部にふりがなが打たれていますが、間違っている箇所があります。今それを指摘した方がよいか、それとも配布されている意見シートに記入する方がよいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見シートに記入していただけると助かります。それと、調査票のデザインですが、イラストを入れるなど親しみやすく柔らかな感じにしようと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>このアンケートでは食事等、生活に関する質問が多く、例えば子ども自身の好きな遊びについての質問があまりないと思いました。質問を増やすと回答率が下がるという懸念もありますが、普段している遊びなどについての質問が少ないと思ったので、意見させてもらいました。</p>
<p>会長</p>	<p>他、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>各アンケートの回答の目安時間が記載されていれば、答えようという気になってくれるのではないのでしょうか。</p> <p>資料1を見ると、子育て支援に関するアンケートと子ども・若者意識調査の調査数が各1,000人となっていますが、それぞれ母数が違うと思います。母数から計算するとそれぞれ何%ですか。また、有効回収率もそれぞれで違うのではないかと気になっています。</p>

事務局	<p>子育て支援に関するアンケートにおける就学前児童の保護者 1,000 人、小学生の保護者 1,000 人についてですが、母数に対しての調査数は非常に多くなっています。恐らく 6 割か 7 割近い方に回答していただくことになるかと思います。当初の設計段階でもう少し調査数を減らせばよかったです。前回の調査を参考に作った部分もあり、その間に子どもの数が減ってきているのを考慮せず 1,000 人にしたため、子育て支援に関するアンケートにおける調査数は非常に多くなっておりま</p> <p>子ども・若者意識調査についてですが、母数が 9,194 人、そのうちの 1,000 人になりますので、9 分の 1 ほどの抽出になります。アンケートにより、抽出の割合がずいぶん異なっています。</p>
会長	<p>調査数の変更は可能ですか。</p>
事務局	<p>母数に対しての調査数のお話かと思いますが、前回の子育て支援に関するアンケートの回収率が 52～53%でした。こういった社会調査になりますと、サンプル数を 500 件ぐらい確保しなければ有効な集計が難しいこともありますので、そういった意味での 1,000 という調査数になっているかと思います。今回も 5 割程度の回収を目指していく形ですが、全国的な傾向としていろいろな調査が届くようになっており、回収率が下がってきているところがございます。そういう中、なんとか 5 割は回収したいということで、調査数自体はこのままにした方がよいかと</p> <p>思っている次第です。</p>
会長	<p>アンケート疲れで回答率が減ってきている部分もあるそうです。他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>就学前の保護者アンケートの間 59 は、児童虐待だと感じるものは何かという設問です。この設問を入れた意図というのは、虐待についての正しい認識を保護者が持っているかを把握するためだと思いますが、そうだとすれば意外と虐待だと気づいておられない行動がここに載っている項目以外に 2 つあります。1 つはきょうだい間差別、もう 1 つは性的行為やそれに関するものを見せることです。可能であれば、この 2 つも入れてはどうかと思いました。問 66 はこどもの権利の中で特に大切だと思</p>

	<p>もの1つに○をつけるようになっていますが、1つに絞るのは難しいのではないのでしょうか。せめて3つは選べるようにしていただきたいと思います。</p> <p>15～39歳対象のアンケート、問25で将来子どもを持ちたいと思うかと聞いていますが、子どもを持ちたくても持てない人が○をつけられる項目がなく、配慮がないと思われがちな聞き方だと感じました。問29では持てそうにないと思う理由として「健康上の理由から」という選択肢がありますが、このような理由で持ちたくても持てない人は問25の項目のどれにも当てはまらず、答えようがありません。問25を設定した意図は恐らく子どもの出生率と関連しており、例えば「子どもを持ちたい」と答えた人の中に里親を希望している人がいるかどうかを把握するためではないと思います。ですから、身体的な事情で子どもを持てない人も回答できるような選択肢の設定をお願いします。</p>
会長	<p>虐待に関する設問については委員がおっしゃったような意図がかなりあり、独自の項目を入れたことを記憶しています。</p> <p>このアンケートのフォントは何を使用していますか。</p>
事務局	<p>設問文は角ゴシック、本文は丸ゴシックです。</p>
会長	<p>最近はユニバーサルデザインが出てきていますよね。このフォントを見るのがつらい方もかなりおられると思います。ユニバーサルデザインというのは、それを軽減するためのフォントで、ユニバーサルデザイン以外は使わない自治体もあるようです。各調査票とも文字が多いので、UDフォントを使えればと思いますが、考えすぎですかね。</p>
事務局	<p>UDフォントもございますので、設問項目が確定次第、見やすさを追求していければと思っております。今回は前回の調査票をベースに作成しましたので、そこの配慮が少し欠けていました。</p>
会長	<p>ここで調査票の設問内容を全て確定し、ご了承いただくことは難しいと思います。今日いただいたご意見と、後日提出いただくご意見シートの内容を含めてもう一度事務局で検討し、最終の調整等は会長と副会長</p>

委員一同	<p>に一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、会長、副会長の方で取りまとめていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第の3「その他」に進みたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日お配りした資料の中に「米原市こども計画」に関するアンケート調査票へのご意見シートというものがございます。本日の審議会で話し尽くせなかった場合や、調査票を読み返して追加のご意見がある場合、こちらのご意見シートにご記入いただき、12月11日までにご提出いただければと思います。</p> <p>今後のスケジュールについて、簡単に説明いたします。本日頂戴したご意見やご意見シートでのご意見に基づく修正、庁内検討等を行い、最終版を会長、副会長にご確認いただきます。そして、来年1月下旬頃に対象となるご家庭に郵送していきたいと思います。返送され次第、集計を行いまして、次回の審議会で回収結果の速報をご報告できればと考えております。次回の審議会につきましては、令和6年3月下旬頃を予定しておりますので、ご出席の方よろしく願いいたします。</p>
事務局（保育幼稚園課）	<p>本日の添付資料、未就園児の定期的な預かりモデル事業について、状況報告をさせていただきたいと思います。醒井保育園で実施いただいている事業の進捗状況ですが、11月につきましても延べ15人のお子さんが利用されていることをご報告いたします。また「こども誰でも通園制度」の概要を紹介している資料を配布させていただきました。主に生後6か月～2歳の未就園児を対象に、1人当たり月10時間を上限として利用いただける制度を来年度から国として試行的に実施される予定です。米原市におきましても実施の方向で調整しているということで、醒井保育園ならびに公立園でも実施予定でございます。</p>
会長	<p>その辺りについての経過報告、意見聴取もありますよね。</p>

事務局（保育幼稚園課）	<p>本日の時点では経過報告のみになりますが、年度末にご意見を頂戴したいと思っております。</p>
会長	<p>意見を聴取すると同時に、実施園や利用者の生の声が聞ければと思います。</p> <p>たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。本日の審議は以上で終わりにしたいと思います。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ここで進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>西川会長、そして委員の皆さま、本日は熱心にご審議いただき、ありがとうございました。本日いただきましたご意見を慎重に検討し、最終版として取りまとめていきたいと思っております。</p> <p>次回審議会については、令和6年3月下旬頃を予定しております。年度末の大変お忙しい中ではありますが、ご出席の方よろしく願いいたします。</p> <p>それでは最後に、閉会に当たりまして副会長の井委員からご挨拶いただければと思います。</p>
副会長	<p>大変お忙しい中、また寒い中、この子ども・子育て審議会に足をお運びいただきましてありがとうございました。アンケートの質問が多すぎて、今日は皆さんから十分にご意見を頂戴できなかったかと思っております。この審議会終了後にそれぞれお気づきになった点を事務局にお示しいただきたいということですので、12月11日までの短い期間ではありますが、忌たんのないご意見をお寄せください。その後は会長と副会長の私に一任いただくということで、大変な重責ではありますが、しっかりと調査票を作成し、1月下旬頃に調査を開始できればと思います。国の方でも12月1日にこども家庭審議会がこども大綱の答申を行ったということで、米原市も大綱の内容にのっとる形で市の姿をお示しできればと思っておりますので、今後ご協力のほどよろしく願いいたします。本日はお疲れさまでございました。</p>
事務局	<p>これにて会議を終了いたします。本日はありがとうございました。お気をつけてお帰りください。</p>



会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： 2人 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開または非公開とした理由 ( )
会議録の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非 公 開（根拠法令等： )
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
担当課	くらし支援部 子育て支援課